

令和8年度「いわて新農業人チャレンジファーム」第9回研修を開催しました

岩手県農業公社就農支援部では、令和8年7月3日（金）・4日（土）の2日間、雫石町南畑のコテージむらにおいて、第9回研修を開催しました。

講義では、やまびこジャパン株式会社農林東日本営業部岩手営業所から、所長の北條知孝氏を講師にお招きして「農作業安全①」と題して、刈払い機の使用における作業中の事故発生事例を踏まえた危険回避の重要性や、安全な操作方法、正しい姿勢などをご指導いただいたほか、機械の性能を維持するための日常メンテナンスについても解説いただきました。

実習では、北條氏から刈払い機の安全な操作方法のレクチャーを受けた後、実際に刈払い機を操作しました。受講生は一般的なチップソーをはじめ、ナイロンコードやバッテリー式、さ

らにはラジコン刈払い機など様々な機種を操作し、それぞれの重量バランスや操作感を肌で体感しました。安全を最優先にした正しい刈刃の当て方や適切な姿勢の確保を一人ずつ実践し、機械の振動や刈刃等での刈払いを実感しながら、真剣な表情で取り組んでいました。

最後に、実習野菜の収穫作業を行い、パイプハウス内のトマトと露地ほ場のズッキーニを収穫しました。

今回の研修では、農作業時の安全管理の徹底から実際の収穫まで中身の濃い内容となりました。日々の作業に潜む危険と農産物を育てる喜びの双方を学び、有意義な時間となりました。

次回の第10回研修は、7月10日（金）に雫石町の株式会社みのり片子沢への視察研修を開催する予定です。



講義：「農作業安全①」にて、チップソー使用時の刈り位置を示す講師の北條氏



講師（写真右）から刈払い機の始動方法学ぶ受講生



ナイロンコード式刈払い機を操作する受講生



トマトを収穫する受講生